



To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2010年1月 No.332
 Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2009~2010)	
センテニアルクラブ会長	: 『Onward Centennial, again』
東京セントラルクラブ会長	: 『一つとなって YMCAへ』
国際会長	: 『一つとなる力』
アジア会長	: 『夢みるアジア、愛するアジア』
西日本区理事	: 『すべてのいのちを大切に』
中西部部長	: 『元気はつらつ中西部』

クラブ役員	Officers
会 長	: 山中 秀男
副会長	: 新保 正秋
書 記	: 石津 雅人
会 計	: 中村 幸枝
メネット会長	: 山中 ちあき
Y連絡職員	: 鍛冶田 千文

Biblical Message of January

January Club Meeting

『IBC/DBC』

1 月 第 1 例 会

なんという空しさ、すべては空しい。
 すべてに耳を傾けて得た結論。「神を畏れ、その戒めを守れ。」これこそ、人間のすべて。
 (コヘレトの言葉 12章8節および13節)

日時: 2010年1月20日(水) 18:30~20:30
 場所: ホテルグランヴィア大阪

さて、今年はどう生きようか?

畠中 彬

新年明けましておめでとうございます。今年は元日から3日間は寒かったけれどよい天気が続く、多くの方が初詣でや戸外へ出かけられたことでしょうか。私も2日は比叡山の延暦寺へ雪中登山をし、3日には愛宕山へ凍った雪を踏みしめて登山してきました。延暦寺も愛宕神社も全国的に有名な寺であり神社なので年間を通して多くの人が参拝しますが、正月の姿は対照的で、延暦寺は積雪が多かったこともあり参拝者がバラバラであったのに、愛宕神社は身を切る寒風の中、登山者が列をなしていました。高齢者が多いのはもちろんですが、若者のグループや家族連れの人もかなり見られ、この寒期中、なんで2時間以上の苦しい登山をしてまで多くの人が愛宕神社へ参るのか不思議でした。そういう私も正月3日の愛宕登山はこれまで30年以上続けている行事で、子どもが小さい時は背中に子どもを背負って家族全員で登ったものでした。毎年参加する仲間は多様で、若いころは参加者も多く10人以上集まったこともありましたが、みんなが年をとるにつれて参加者が減っていき、ここ2~3年は昔からの登山仲間と2人で登っています。そしていつも2人で「これ、いつまで続けるのかなー?」と話しているのです。昔は正月登山が1年の始まりであり、これを続けることにこだわっていました。そのこだわりがあったから30年以上続いたのでしょう。でもそれが何だったのかという思いが最近出てきたのです。ひとつのことにこだわることで大きな仕事ができる反面こだわることの弊害もあります。私たちは知らない間につまらないことにこだわっていることもあります。今年はこのこだわりの心を捨てて、自由に生きていきたいと思いました。こだわりの心を捨てることにこだわらないようにして。

司会: 藤原 正巳 君

- | | |
|----------------------|----------|
| 1. 開会点鐘 | 山中 秀男 会長 |
| 2. ワイズソング | 一 同 |
| 3. 聖句朗読 | 松浦 孝次 君 |
| 4. ゲスト・ビジター紹介 | 山中 秀男 会長 |
| 5. 今月の強調活動 | 藤原 正巳 君 |
| 6. 連絡・報告・ニュース | 各メンバー |
| 7. 晩 餐 | 一 同 |
| 8. 卓話 | |
| 「日本人と中国人~中国人とのつきあい方」 | |
| 三浦 正治・羽衣国際大学前学長 | |
| 9. 誕生祝い・ニコニコ献金 | 一 同 |
| 10. 閉会点鐘 | 山中 秀男 会長 |

ク ラ ブ 戦 略 会 議

日時: 2010年1月23日(土) 14:30~16:30
 場所: 大阪YMCA土佐堀会館4F

役員人事及び運営方針について討議。
 会議終了後、懇親会予定。

1月お誕生日: 中村メネット(1日)
 福永(9日)、三浦(16日)
 中村茂(19日)の各メン

例会担当

1班: 大村、新保、田中、畠中、山田、山中



【クラブ統計 Statistics】

2009年12月	種 別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 18名	メ ン	12名	6名	12月 現 金 切 手 現 金 g 円	12月: 17,500円 (クリスマス献金へ) 累計: 123,200円
例会出席 12名	メネット	8名	1名		
うちメーカー	ビジター	0名	1名		
0名	ゲ ス ト	1名	1名		
出席率 66.7%	合 計	21名	7名		

12月第2例会報告

日時：2009年12月9日（水）18:30～20:00
場所：大阪YMCA会館4階

出席者：石津、大村、谷川、松浦、山田、山中の各メン、
山中メネット、小林（表コミスタッフ）

報告事項

1. 2月例会（TOF/CS/FF）提案者＝畠中彬さん
卓話/石橋秀樹・大阪YMCA学院日本語学科スタッフ
2. 3月例会（EF/JWF）提案者＝中村茂高さん
3. 表コミとの交流会の打合せ
日時：12月11日（金）13時から14時半まで
場所：大阪土佐堀YMCA会館
内容：山中会長のロンドン体験記の話と香道（お香をかい
で匂いを当てる）と投扇遊び
生徒の参加は16名ぐらいだが、クリスマスプレゼントを
3年生全員に渡す。
4. 次期中西部主査の選出 中村幸枝メネット主査
5. クラブ全体ミーティングの件
来年度のクラブ役員人事及びクラブ運営について全体ミー
ティングをすることに決定。
日時：1月23日（土）14時30分（予定）
会議終了後懇親会の予定
6. 中西部合同新年会：1月9日14時～17時、大阪南YMCA
会費3,500円
7. 落語会（2月6日）出演者、切符販売、チラシの作成につい
て打合せ。（大村 肇）



マジックを披露される
原義雄氏



キャンドルサービスでの福永嘉彦・滋子ご夫妻



谷川有美子メネットの奏
楽で楽しく歌いました

「伝道の書」が、新共同訳（1987年）で「コヘレトの言葉」と改められました。コヘレトとは、会衆の指導者という意味で、ダビデの末子＝ソロモンとの説もあるようです。「コヘレトの言葉」は、1章から「コヘレトは言う。なんという空しさ、なんという空しさ、すべては空しい」・・・「知恵が深まれば悩みも深まり 知識が増せば痛みも増す」などなど。

全編これ、空しいの連続。バシミスティックな言辞であふれていることに驚きます。どう解釈したらよいか。人の命、人の行いは はかなく空しい。すべてを神の御手にゆだねることしかない！ということと解釈します。

また、「何事にも時があり、天の下の出来事にはすべて定められた時がある」また、「青春の日々にこそ、お前の創造主に心を留めよ」など、味わい深いメッセージがちりばめられています。じっくり読み込む値打ちがあります。

聖句選 コメント：松浦 孝次
（今回は、田中穰二さんです）

12月第1例会報告

と き：09年12月16日（水）18:30～20:30

ところ：ホテルグランヴィア20階

クリスマス例会。ゲスト1人、メン12人、メネット8人の計21人が出席して、クリスマスを祝いました。山田メンの司会、山中会長の点鐘で開会。谷川メンから「EMC-C」について解説があり、また久しぶりに出席の新保メンが「私の自然観」についてコメント。大村メンから、来年2月6日の当クラブ主催「桂吉弥落語会」の案内とチケット配布（販売）がありました。180席、今年に続いて多くの方々に来聴いただきたいですね。また、わがクラブの戦略会議と懇親会を来春1月23日（土）午後2時半からYMCAで開催することの案内がありました。

豪華晩餐（ワインで乾杯、洋風弁当、ケーキとコーヒー）を楽しんだ後、ゲストの原義雄さま（谷川メンの友人、神戸国際大学などで教えておられた。キリスト者でもある）から、大変楽しいマジックを披露していただきました。相当な技量をお持ちで、いま大学のマジックサークルを指導しておられる由。みんなを感心させ、また時にはとちったりで、笑わせながら、ほのぼのとした雰囲気を楽しませていただきました。こういう芸をもっているといいですね。



クリスマス風にアレンジされた食事

その後、キャンドルサービスをし、谷川有美子メネットの奏楽でクリスマスソングを数曲歌いました。聖夜の雰囲気が醸し出されました。谷川メネットはボリウムのある楽譜集も用意いただき、また石津メンは キーボードを自宅から持参いただき、ありがとうございました。

最後に、鍛治田スタッフから、12月10日の表コミの学生さんと当クラブの第2回交流会について、「聞香」と「投扇興」を山中夫妻、中村メネットが披露、指導され、まことに優雅な日本古来の遊びを初めて体験し、日本文化の奥深さを実感できたと、感謝のメッセージでした。

なお、ニコニコ献金・17,500円は、YMCAのクリスマス献金に捧げました。（松浦 孝次）

YMCA ニュース

2010年になりました。大阪 YMCA では、ただいま「VISION2020」を作成中です。子ども達が、そして人々が生き生きできる暮らしやすい地域社会をつくるため、何ができるか、何をするのかを模索中です。2010年も、そして未来も、どうぞご支援ください。

早天祈祷会

日時 1月15日(金)7:30~8:30
場所 大阪YMCA会館チャペル
証し 小島規似郎(豊中ワイズ)
*200回目の早天祈祷会です。

自立支援セミナー

~発達障害のある人の思春期・青年期の支援を考える~
日時 1月30日(土)12:30~17:30
場所 大阪YMCA会館ホール
内容 「発達障害のある人たちの思春期・青年期 - 心を寄せるということ -」
「思春期・青年期を見据えた特別支援教育を考える」

Tel.06(6441)1123 Fax...06(6443)7544

(鍛冶田 千文)

表現コミュニケーション学科との交流会

12月11日、土佐堀YMCAで、センテニアルがサポートしている表現コミュニケーション学科との交流親睦会が鍛冶田さん、先生2名、16名の生徒と、当クラブからは山中会長、山田さん、石津さん、中村幸枝メネット、山中メネットが参加し年代を超え古式の雅を楽しみました。前会は茶道と箏でしたので今度は投扇興、香道にしました。投扇興は扇を的に当てる平安貴族が好んだ遊びです。



生徒さん達は扇を開けるのに興味を持ち、始めは簡単とささやきあっていましたが、思うように扇が飛ばず、番がくるまでイメージトレーニングや投げ方のコツを練習していました。

第一巡りで当たる人が出ず、3回くらいでほぼ全員が命中止せました。引き続き香道を始めました。香道は推古天皇時代から始まり香りを楽しむゲームです。香道では香りを『嗅ぐ』とは言わず『聞く』と言い、お手前は香炉が客の間を仕切り、銘を当てます。この遊びは古典の和歌、文学、工芸、書道の素養を必要とし、レベルの高い遊戯です。

香りの覚え方として五味(甘、苦、辛、酸、塩辛い)のどれかと結びつけて記憶すると覚えやすいです。聞香を始めた時ザワザワしていたのですが、順が回ってくるとだんだん真剣な眼差しになって、シャンプー?カレー?押し入れ?と若い人の表現法、イメージは現代風だなと思いました。16名の生徒、先生たちの中で3名が百点、5名が80点でした。

反省点では感性が豊かで集中力の素晴らしい生徒さんだったので、初級でなく中級にすれば良かったのではないかと思います。さすが表コミの生徒さんです。次回はセンテニアルの皆様と共に中級に挑戦してみたいと思いました。(山中ちあき)

とさぼりクリスマスのつどい

12月7日(月)土佐堀YMCAホールで、「とさぼりクリスマスのつどい」が開催されました。今年はファミリークリスマスという事で、音楽と影絵をつかってイエスさまの降誕劇をされました。昔、教会学校に行っていた時のことを思い出され懐かしかったです。多くの生徒、学生、スタッフ、ワイズメンが参加し、クリスマスらしい落ち着いた祝会でした。今年卒業した表現コミュニケーションの生徒も多数参加し、昨年のお茶会やクリスマス会で知り合った生徒とも楽しい交流の場が持て、一段と成長した彼ら姿を見て頼もしく思いました。クラブからは、このつどいに山田さん、松浦さん、石津さん、大村が参加しました。(大村 肇)



「クリスマスのつどい」での影絵とキャンドル

Club Activities (December, 2009)

On December 16, the club's final meeting for the year was held at the Hotel Granvia Osaka with a total of 21 Y's men, Y's menettes and a guest in attendance.

With its emphasis on "EMC" this month, Y's man KAN

TANIKAWA briefed its purpose and meaning of the program. At the beginning of the dinner, we all joined a toast, wishing our good health for the New Year and the further progress of our club activities with red and white Italian wine, "Lacrym Christi". Y's man YOSHIHIKO FUKUNAGA played the toast master's role..

The highlight of the December meeting was a magic performance by Mr. YOSHIO HARA, lecturer of the Osaka and Kobe International Universities. He showed us a variety of magic using very colorful magical tools. We enjoyed his skillful performance, together with his humorous talks..

Another highlight of the meeting was singing of Christmas

songs and exchange of Christmas gifts brought by all members. Under hand-made candle lights, we sang a number of Christmas songs to Y's menette, YUMIKO TANIKAWA's piano accompaniment.

Yen 17,500 collected for our club's fund at the meeting was donated to the Osaka YMCA's Christmas Fundraising campaign as usual.

中西部ホームページ

<http://ys-chuseibu.com/>

大阪センテニアルクラブホームページ

<http://m-ishizu.com/ys/>



ニコニコ・メッセージ



【Messages from the Club Members】

会員からのメッセージ

美味しい食事にマジックを楽しみ、クリスマスソングを歌って本当に楽しい例会でした。(石津 雅人)

原さんの楽しいマジックショーを見ながらのクリスマス例会でした。来年もいい年であります様に(大村 肇)

初めてのクリスマス例会、ドキドキしています。プレゼントも用意したけど、これでよかったのか少し不安。今日もありがとうございます。(岡本 剛介)

今日は楽しいクリスマス例会となりました。食事の時間の会話も弾み、クリスマス気分も盛り上がりします。(坂本 千春)

メリークリスマス。平和と家族と地域に乾杯。今日は楽しい会でありありがとうございました。(新保 正秋)

原先生の楽しいマジック笑いを誘いながらびっくりとてもお見事でした。ありがとうございました。(隅田 恵子)

楽しい祝会を有難うございました。(谷川 寛)

楽しい、楽しいクリスマス会、すばらしいマジックショー！その先生がこのセンテニアルクラブに入会したいというマジックのようなお言葉を頂き感激！！(谷川 有美子)

今朝二女がインドに発ちました。正月2日には長女が仕事でトルコに出張です。空の安全願って。(中村 幸枝)

わざと間違っって？人を喜ばせる手品のテクニクはプロ以上と思いました。我々も間違いを恐れず人に喜ばれる人生を生きていきましょう。(畠中 彬)

今年も幸いクリスマスを迎えることが出来たことは不思議な位です。感謝です。例会でマジックは初めて、面白く楽しみ、気分転換になりました。有難う。(福永 嘉彦)

メリークリスマス、楽しい夜の一時、美味しいお食事とマジックショーを見せていただきました。Y sでの親しい暖かい交わりを感謝いたします。(福永 滋子)

クリスマス例会、本当に楽しい一時でした。今年は体調の維持に色々と苦勞する年でしたが、センテニアルは元気の源泉です。様々なバックグラウンドを持った年齢の異なる会員の皆様との交流は大変刺激的で今後も出来る限り積極的に活動させていただきたいと思っております。マジック大変楽しませて頂きました。(藤原 正巳)

クリスマス例会楽しかったですね。今年もセンテニアルクラブとしてよい年でした。来年、一層の皆さんのメンバーを増やして充実したクラブとしたいものです。(松浦 孝次)

今年最後の例会に乾杯！そして、メリークリスマス！(三浦 直之)

センテニアルのクリスマスはやっぱり楽しく。アットホーム。そんなムードの中でアトラクションも盛り上がり賑やかな夜を楽しみました。来年もこの調子で盛り上がりましょう。(山田 孝彦)

原義男先生のマジック堪能、熱演に感謝です。(山中 秀男)

キリスト様の誕生日を祝って(山中 ちあき)

おいしいお料理を頂き、楽しいマジック、みんなで歌う、クリスマスソング、感謝します。(山村 利子)

マレーシア最近事情 - その3

前回のメールマガジン【第 8 号】にて、マレーシアの大学での出張授業の様子を書きました。この大学はクアラルンプールから車で一時間、大学の近辺にはモスク（イスラム教の寺院）=写真が点在しています。



マレーシアはイスラム国家です。私の訪問したマレーシア工科大学（Universiti Teknologi Mara）はマレイ系の人々地位向上を目的に設立された、と書きました。マレイ系の人々は大半がイスラム教徒です。

今回は簡単にマレーシアという国について触れてみましょう。この国は東南アジアのマレー半島部とボルネオ島にあるサバ、サラワク両州から構成されています。大変大きな国土を持ち、天然資源が豊富な国です。総人口は約2,700万人。民族構成は、マレイ系などが約65%、中国系26%、インド系8%、その他からなっています。宗教別の人口構成は、最大多数のイスラムは60.4%、仏教19.2%、キリスト教9.1%、ヒンドゥー教6.3%、その他となっています。この数字からお分りのように、マレイ系の人々が多数を占め、彼らはイスラム教徒です。このことからイスラム国家といわれています。マレイ系の人々の人口は増加しています。

イスラム教はマレーシア国家の宗教ですが、他の宗教も受け入れられています。私たち YMCA との関係で接触する人々の大半は、中国系でキリスト教徒と仏教徒が多いといえます。クアラルンプール YMCA に集まる人々も、中国系、インド系が大半を占めています。

今回の訪問で、マレイ系の人々、しかもイスラムの女性が教育界、実業界に大きく進出してきていることを知りました。

(谷川 寛)



後記

皆様も新たな気持ちで、今年を迎えられたことと思います。センテニアルにとっても、次期中西部長の松浦さんを中心に中西部の舵取りをしなければならない、大きな節目の年になります。センテニアルの皆さんが一丸となり、松浦さんを支え、実りのある年にしたいものです。

まさに、今月の松浦さんの聖句の中の「何事にも時があり、天の下の出来事にはすべて定められた時がある」が今年であり、巻頭言の畠中さんの、毎年恒例とされている愛宕山の雪中登山の、自分に課する峻厳な生き方は、とても身の引き締められる思いがします。

(中村 茂高)